

### 八幡堀

1991年　重要伝統的建造物郡保存地区に指定。  
八幡堀、日牟礼八幡宮境内地、新町通り、永原町通りを中心とする地区内の建築物180、工作物93が伝統的建造物として特定されている。

豊臣秀次が八幡山のみもとに城下町を開いたとき、当時の交通幹線であった琵琶湖を往来する荷船をすべて八幡に寄港させるために設けられた運河が八幡堀です。近江商人の発祥と発展、また町の繁栄に八幡堀は大きな役割を果たし、江戸時代後期には近江国において大津と並ぶ賑わいを見せたといえます。昭和初期までは、常に町の人々の経済・流通路でしたが、戦後は陸上交通の発展によって廃れ、一時期は荒れ果て埋め立ての計画まで進められていました。しかし、青年会議所を始めとする地元有志の運動により、ようやく今日の姿を取り戻すまでに至りました。堀に沿って、白壁の土蔵や旧家が立ち並び、華やかだった当時の様子をよく伝えています。日牟禮八幡宮の大鳥居の沿いの堀に架かる白雲橋からは、全国各地から届いた物産を一時保管した土蔵が見られます。近年、観光名所として整備し、船着き場などを復元。

### 市立資料館　歴史民俗資料館

※市立資料館は「郷土資料館・歴史民俗資料館・旧西川家住宅・旧伴家住宅」の4館で構成されています。

森五郎兵衛の控宅で、近江商人（八幡商人）の往時をしのぶ帳場風景や生活様式をそのまま残し、そのほか多くの民俗資料を展示公開しています。裏庭には、民具・農具などが展示され、水郷地帯の農村の生活を知ることができます。初代五郎兵衛は、伴傳兵衛家に勤め、別家を許され、煙草や麻布を商いました。やがて、呉服・太物など取扱商品を増やし、江戸日本橋や大坂本町でも活躍しました。（現在も、東京日本橋室町に近三商事株式会社として活躍中です。）

### 市立資料館　旧西川家住宅(西川利右衛門邸)

国・重要文化財

西川（利右衛門）家は屋号を大文字屋と称して蚊帳や畳表を商い、江戸、大坂、京都に店を構えました。現在資料館として入館できる施設は3代目によって宝永3年（1706年）に建てられ、昭和58年に国の重要文化財に指定され、昭和60年～33ヶ月改修工事されました。典型的な近江商家の面影を残し、壁を黒く塗りトガ材を使った2階建てで、店の部分と居宅部分に分かれており、突き出した座敷玄関を持っているのが特徴です。昭和5年に後継者が無いまま11代目が亡くなり、約300年にわたって活躍した西川家は終焉を迎えました。西川家の家訓は「先義後利栄・好富施其徳」。義理人情を第一とし、利益追求を後回しにすることが商売繁盛となり、得られた富に見合った人間形成を行えと説いています。見かけより奥行きが広く、庭に植えられた木々の周りに飛び石が巡らされ、地面には苔が生えています。近江商人の隆盛ぶりを偲ぶことができます。

### かわらミュージアム

〔設計〕出江寛/出江建築事務所　〔竣工〕1995年

八幡瓦と八幡の歴史をテーマにした、国内では珍しい瓦専門の展示館です。かわらミュージアムは、瓦工場跡地に立地し、水運交通の便利な八幡堀に面して建てられた白黒のモノトーンが映えた大変個性的な瓦づくりの建物です。「瓦」は屋根の表情をつくり、屋根の連なりが、まちの景観を支えてきたという視点で「かわら」をとらえ、瓦の魅力を随所に活かした建物自体が展示物となっています。かわらミュージアムには、昔ながらの手づくり的な味わいをあえて取り戻すため、また白壁の土蔵にも自然に溶け込むように瓦に色むらをつけています。他にも、古瓦で絵や模様、昔話を描いたりしています。2012年4月より指定管理者制度が導入され、「まちづくり近江八幡」が管理運営しています。

平成24年年度第2回上方探索倶楽部　2012/7/1(日)

## ABOUT OF　八幡堀界限巡り　～　ヴォーリズ建築を中心に　～

### 近江兄弟社学園　ハイド記念館(旧清友園幼稚園)

〔設計〕W.M. ヴォーリズ　〔竣工〕1931年　〔構造〕木造2階建・瓦葺き　国登録有形文化財

教育会館同様、1931年建設。2000年に国の登録文化財に指定されました。　2003年3月まで幼稚園舎として使われていました。現在は、創立者ヴォーリズ夫妻ゆかりの品や絵画、パネルを展示、一般公開されています。映画のロケ場所にも使用されました。　高校吹奏楽部が練習場所としても利用しています。＜近江兄弟社学園サイトより＞

### 旧近江八幡郵便局

開催中の「ヴォーリズさんの設計室展」を見ます。　〔設計〕W.M. ヴォーリズ　〔竣工〕1921年　〔構造〕木造、地上2階

スパニッシュと和風の町屋造りを折衷したデザイン。1960年まで郵便局の局舎として使用されていた。その後、民間の手に移り、玄関部分が取り壊され、長らく空き家となっていた。2004年に特定非営利活動法人ヴォーリズ建築保存再生運動「一粒の会」が復元再生をして、現在はギャラリー、イベント会場等の多目的空間と事務所として使用されている。

### 池田町洋風住宅街

大正時代にヴォーリズがアメリカ式住宅のモデルハウスとして建てた。現在も住宅として使われている。（ヴォーリズ邸もあったが解体された。）

北から順に、

旧近江ミッション・ダブルハウス（1921年築）近江ミッションの米国人スタッフのための住宅で、ダブルハウスと称されるコロニアル・スタイルの二世帯住宅です。

旧ウォーターハウス邸（1913年築）

旧吉田邸　登録有形文化財（1913年築）1925年、1930年と増築を経つつも、当初の様子をほぼ完璧に伝えています。コロニアル・スタイルの住宅の原点に位置する建築です。

### たねや　日牟禮ヴィレッジ　クラブハリエ日牟禮館（旧忠田氏邸）

ヴォーリズ建築事務所設計　1936(昭和11)年に建てられた忠田兵造の住宅を、2003（平成15）年より洋菓子店クラブハリエにより再生活用。八幡山の麓、緑豊かな環境にあり、和を取り入れたスパニッシュ様式の建築。カフェには旧忠田邸の内部を再生した特別室が4部屋あり、カフェスタッフに申請することで見ることが出来ます。（特別室での喫茶は要予約・有料。）名物のバームクーヘンは、ヴォーリズが作り方を指導したのだから。

郷土資料館　1886年八幡警察署として建設、1953年ヴォーリズ建築事務所が設計を行い大幅に改築、現在の形になりました。

村岡邸（旧岩瀬医院・岩瀬邸）　1933年

旧ヴォーリズ邸（ヴォーリズ記念館）滋賀県指定有形文化財　1931年に建築され、ヴォーリズ夫妻が池田町の家を出た後、ここに移り最後まで住んだ住宅です。

旧八幡YMCA会館（アンドリュウ記念館）　元は1907年ヴォーリズ日本初の設計で、現在は1935年の建て替えた物ですが、旧建物のイメージを多く継承しています。隣接の近江八幡協会は、1924年築のヴォーリズ設計による教会が焼失して、一粒社ヴォーリズ建築事務所により、1983年に建てられたものです。

旧　近江兄弟社地塩寮（日本基督教団近江八幡教会牧師館）　1924年頃？

滋賀県立八幡高等商業学校本館（旧滋賀県立八幡商業学校。ヴォーリズが来日して最初に英語教師として赴任した。）1940年　鉄筋コンクリート造り3階建て

その他、ヴォーリズ記念病院内（ツッカーハウス、旧五葉館、礼拝堂）、恒春園、滝川邸、石橋邸、内炭邸、前田邸、浪川邸、柿元邸、宮川邸、近江金田教会。ヴォーリズが近江八幡市に設計した建築は、24つ。それ以外にこれも？と思われるものもあるそうです。